



いつでも どこでも だれにでも  
**大きな声で** 自分から

生命を大切に、進んで学ぶ、心身共にたくましい子どもの育成  
～ やさしいいっぱい かしこさいっぱい たくまさいっぱい ～

## 夏休みの1/3が過ぎました

毎日暑い日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか！大きな事故や事件に巻き込まれることなく、子どもたちは元気に過ごしているようです。ありがとうございます。お盆など、日本(長崎)ならではの行事もあります。『新しい生活様式』を意識し、楽しい中にも安全で安心して生活ができるよう引き続き子どもたちへの声かけや指導をお願いします。

今日は、我々長崎県民にとって、決して忘れることができない日です。75回目の長崎原爆の日です。せっかくの日曜日でしたが、本日を登校日とさせていただき、「平和集会」をZoomにて行いました。集会の折に子どもたちに向けて話した概要を紹介し、ぜひ子どもたちと一緒に原爆や戦争の恐ろしさや平和の尊さについて話をしてみてください。

今日は8月9日、長崎原爆の日です。今年も9月に4年生が社会科見学で行く長崎市で、今から75年前の今日、11時02分、一発の原子爆弾が落とされました。当時の長崎市の人口24万人のうち約7万4千人が死没。建物の36%が全焼または全半壊しました。そしてこの原子爆弾の怖さは、今なおそのことが原因で、亡くなっている人や病気で苦しんでいる人がたくさんいらっしゃるということです。「原爆死没者名簿」によると、令和元年8月9日現在、182,601人(新たに3,402人)がお亡くなりになっています。台風や大雨などの自然災害でも人の命が奪われることがあります。戦争は、人が人の命を奪うとても恐ろしい、そして愚かな行いです。国と国とが戦争をすれば、何の罪もない人の命まで奪います。

戦争が終わって75年が経ち、実際に経験した人が少なくなった今だからこそ、私たちは戦争のこと・平和のことを『自分事』として真剣に考えなければなりません。

8月6日(広島原爆の日)、8月9日(長崎原爆の日)、8月15日(第2次世界大戦が終わった、終戦記念日)を迎えるたびに、戦争や原爆の怖さを感じ、二度と起こしてはいけないと強く思います。

平和な国づくりを進めていくためには、お互いの国がお互いを理解し、困っているときには、お互い支え合っていくことが大切です。

学校や学級だって同じです。自分の生命(いのち)が大切なように、お友達の生命(いのち)も大切にすること、お互い助け合って、支え合って生きていくことがとても大切です。

今日は、この後各学級でも戦争・平和・そして相手を思いやる心など一人一人が真剣に考えて、一回り大きく成長して欲しいと願っています。

### 五小、五つの数え

- ～ 生命を大切に
- ～ 親を大切に
- ～ 感謝の心を大切に
- ～ 自分を大切に
- ～ まじめに



### おめでとう！かがやく五小っ子



第43回 島原市スポーツ少年団  
バレーボール大会

男子の部 準優勝 安中

<7月25日開催>

☆8月下旬の県大会  
出場権獲得!!



令和2年度第19回  
理事長杯(U-10)

少年サッカーリーグ  
優秀選手賞

大町 把玖(4年)  
(雲仙エスティオール)

